

2024年1月19日作成

第1.0版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ  
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた試料・情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の試料・情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの試料・情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

分子疫学的手法を用いた ESBL 産生肺炎桿菌増加の原因解明

1. 対象となる患者さん

2020年1月1日～2023年12月31日の間に当院で ESBL 産生肺炎桿菌が検出された患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 感染症内科 伊藤 渉

3. 研究の目的と意義

ESBL 産生肺炎桿菌による感染症は治療に難渋することが多く、当院を含め全国で増加していることが知られています。この研究は、カルテ情報や検出細菌を解析し、当院において ESBL 産生肺炎桿菌が増加している原因を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、より適切な感染症診療や院内感染対策の構築に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す試料・情報を対象の患者さんのカルテや保存検体から収集し、ESBL 産生肺炎桿菌の増加に関係する項目を調べます。

5. 使用する試料・情報

- ・菌体試料：患者さんの検体（血液、痰、尿など）から検出された ESBL 産生肺炎桿菌
- ・診療情報：年齢、性別、BMI、基礎疾患、感染臓器、診断名、重症度、臨床症状、身体所見、留置医療器具、使用薬剤（輸血薬剤、抗菌薬、免疫抑制薬など）、検査所見（血液検査、微生物検査など）、感染様式（市中発症、院内発症）、検体提出場所（外来、病棟）、担当診

療科、転帰（死亡、在院日数）

**6. 試料・情報の管理責任者**

奈良県立医科大学 学長

**7. 研究期間**

研究機関長の実施許可日（2024年3月14日）～2027年3月31日

**8. 個人情報の取り扱い**

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

**9. お問い合わせ先**

奈良県立医科大学附属病院 感染症内科 伊藤 渉

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：w.ito108@naramed-u.ac.jp